

平成27年10月30日

福井県柔道連盟理事長 榮 修一

福井国体に向けた大会視察
～ 紀の国わかやま国体（柔道競技）～

1 視察日時

平成27年10月2日（金）午後1時00分ころから

平成27年10月5日（月）午後4時30分ころまで

2 視察場所

- (1) 会議場所
「ダイワロイネットホテル」 和歌山市7番丁26-1
- (2) 大会会場
武道・体育センター「ビックウエーブ」 和歌山市手平2-1-1
- (3) 計量・練習会場
「県立体育館」 和歌山市中之島2238

3 視察員

室田徳三郎（県柔連 国体準備委員会委員長）

榮 修一（県柔連 理事長）

ニッ谷直邦・瀧波龍一郎・松見 英生・尾竹 哲宏（高体連）

森山 博史・佐々木昌広・山木 和恵（中体連）

森嶋 正樹 10/2～10/3（中体連）・野尻 康行 10/3（県柔連 常任理事）

4 視察項目

- (1) 会議等（審判講習会・審判会議・監督会議・レセプション）
- (2) 競技運営・競技進行
- (3) 式典関係（開始式・表彰・閉会式）
- (4) 施設関係（会場レイアウト・設備・競技用具整備状況・練習会場・各控え室
ミシン室・ドーピング室）（役員、選手、一般人の動線・入場制限）
- (5) 人員関係（競技役員・審判関係・補助員等の人数：役割、任務分担、配置状況）
- (6) その他（来賓状況・計量関係・救護・コンディショニングルーム・公開演技
和歌山市との連携・全柔連との連携・お成り等）

5 視察内容

- (1) 会議等
ア 審判講習会
・今年度は67名申込みで、66名受講（欠席12名、当日申込み11名）
資料「H27年度Aライセンス審判員講習会」

- ・最初の受付は、和歌山県柔道連盟が担当、集計作業及び修了証は全柔連大会事業課が担当
- ・会場の手配が必要である。会場の規模は、概ね100席
机席（47席：監督数）と椅子席で対応
- ・スクリーンとプロジェクターを手配

イ 審判会議

- ・国体審判員（審判委員）以外の受講生は退席
資料「審判会議」
進行は和歌山県柔連 新家総務部長
審判規定について、大迫審判長から説明
- ・審判員への記念品は梅（3千円）とタイピン

ウ 監督会議

- ・監督47名、視察員等32名（内本県10名）
資料「監督会議」「選手変更一覧」
計量結果と競技日程を和歌山県柔連 新家総務部長が発表

エ レセプション

- ・101名出席 8人席×7、9人席×5
和歌山県受付者：市長（副市長）、市教育長、市議会議長 3名
県柔連会長、顧問、参与、副会長、専務理事、理事、評議員 23名
県外受付者：全柔連役員、代議員、審判委員、審判員等 75名
- ・費用は県柔連持ち
- ・宿泊ホテルでの開催のため送迎はなし
- ・役員への記念品の梅（3千円）をここで渡したため、会場に忘れた役員が多数いた模様
- ・二次会の設定あり（費用は県柔連持ち）

(2) 競技運営・競技進行

ア 全体

- ・インカムの余りを借りようとしたが、残っていなかった。
記録本部と進行係員に試合の開始と終了を流していた。
福井の前年開催である愛媛県には事前依頼をしていた。
- ・試合会場で確認したこと。
審判割 中央24名+地元8名 ただし、審判割は3会場、10名とする。 予備2名
- ・今回の注文 ケアシステム操作者をつけてほしい
理由 審判委員がケアシステムを操作していると試合が見られない。

- ・計時係が5名必要。
- ・選手係と会場係の補助員は、同じような仕事をする。
- ・選手の帯を椅子に用意する。 入場カードを受け取り、返還する。
- ・試合の合間に試合場のごみをとる。
- ・それ以外に会場係は、試合場の副審用椅子を下げたり、上げたりする。 畳の血などをふき取る。
- ・会場の掲示係(2名)は、主任が無線、目で見て、発表していた。
- ・おもてなしのコーナーの掲示係(1名)のみ。
- ・試合場の外の掲示係(2名)
- ・速報がその日の分しか棚にない。3個ほしい。
- ・記録の予備の補助員が、決まり技の用紙を取りに行く。
- ・審判会議室(控室)が、練習会場の横なのでうるさかった。
- ・審判会議の司会は、審判部長で点呼を行う。
- ・モニターが12台4か所あり。
練習会場 1F あり 2F なし(3日目からあり)
審判控室 あり 監督・選手控室 あり(3日目からなし)
おもてなしコーナー あり
- ・要項に、替えの柔道衣は、各県用意させるか。大会本部が用意するか載せる。
- ・ジャケットでの色分け。4種類
オレンジ ボランティア 赤 市関係者 黄色 役員 緑 補助員
- ・会場や練習会場、審判打ち合わせの会場には冷房が必要。

イ 進行係

- ・主任1名+競技役員3名
- ・全試合の進行把握
- ・試合会場主任からのインカムによる連絡
- ・放送係がアナウンスする原稿の作成
- ・大会開催前や式典中のBGMの再生停止
- ・代表戦の抽選

ウ 試合場主任

- ・主任1名+競技役員6名
- ・代表戦の決定
- ・試合の開始と終了を全体にインカムで連絡
- ・試合場主任は試合記録用紙の確認をしサインをする
- ・代表戦になったらインカムで全体に連絡する
- ・代表戦の決定
- ・各係や試合場係内の業務進行状況を把握し試合運営に努める
- ・準備物
審判割り当て表、筆記用具、インカム、抽選棒

エ 時計係

- ・主任1名＋競技役員3名＋補助員12名
- ・試合時間の計測
- ・デジタルタイマーの操作、得点表示
- ・試合時間記入用紙を記入し記録係に渡す
- ・試合時間記入用紙は試合場ごとに色分けされている
- ・補助員の役割分担を決めておく
- ・試合時間用紙にはタイマーに表示されている試合の残り時間を記入する。
- ・準備物
試合時間記入用紙、タイマー、得点掲示、ストップウォッチ
- ・緊急時の際は、ストップウォッチ、ベル、合図旗、卓上得点板で対応する
- ・準備物
ストップウォッチ、試合時間記入用紙、プログラム、ベル、卓上得点板、合図旗、インカム
- ・JH5000タイマーの役割分担はスコアー、タイマー、抑え込みの3種、（使用説明書付き）

オ 記録係

- ・主任1名＋競技役員3名＋補助員6名
- ・試合時間記入用紙と決まり技記入用紙を回収し、試合記録用紙にボールペンで手書き作成
- ・試合記録用紙の内容をパソコン入力
- ・試合記録用紙の配布
- ・勝敗の内容とその判定記号、最終結果の記入を確認
- ・手書きの試合記録用紙を確認後、各試合場記録係がサインをし、記録本部係補助員に提出する
- ・準備物
プログラム、審判割り当て表、パソコン、試合記録用紙、クリアファイル、インカム、選手変更一覧、筆記用具

カ 決まり技係

- ・主任1名＋競技役員6名
- ・決まり技記入用紙は、試合場ごとに、白、ピンク、水色と色分け
- ・決まり技を技記入用紙に記入し記録係に渡す
- ・きまり技係は2名で協議し決まり技を決定
- ・「技名称一覧表」で技を確認する
- ・準備物
プログラム、決まり技記入用紙、技名称一表、柔道見極めハンドブック、インカム

キ 対戦計時係

- ・主任1名；競技役員3名＋補助員9名
- ・「先程の試合」、「只今の試合」、「次の試合」のプレート及び勝負内容を掲示
- ・対戦中の選手名の間には「対戦中」プレートを掲示
- ・代表戦の場合は選手決定後に「代表戦」プレートを掲示
- ・選手名は姓のみ明記するが、同姓の場合は名の1文字を加える
- ・試合内容が不明瞭な際はインカムで当該の試合場係主任に確認
- ・試合結果は次の試合の中堅戦が始まるまで掲示する
- ・決勝戦の結果は写真を撮る関係で表彰式終了まで掲示する。
- ・準備物

選手名プレート、審判名プレート、対戦中プレート、審判割り当て表、プログラム、勝敗マーク、代表戦プレート、インカム、チームプレート、インカム、選手変更一覧表、筆記用具

ク 選手係

- ・主任1名＋競技役員6名
- ・試合の直前の試合までに次回選手を誘導
- ・選手変更の有無を総務係に確認する
- ・ゼッケンで選手名を確認
- ・IDカードを預かり受領ボックスで管理、赤白帯と交換
- ・選手控席へ誘導
- ・選手が畳に上がるタイミングを指示する
特に第一試合、準決、決勝、3位決定
- ・ベスト8チームへの表彰式出席の連絡を監督に行う
- ・準備物
柔道衣測定器、IDカードボックス、インカム、赤白帯、選手名簿

ケ 報道係

- ・主任1名＋競技役員2名
- ・報道関係者との窓口
- ・報道員席には視察委員、記者、カメラマン以外入れない、
- ・インタビューアエリアへ選手や報道関係者を案内誘導
- ・フラッシュの使用禁止
- ・記者からの注文や意見があった際は、総務係へ連絡後に回答する
- ・準備物
プログラム、試合進行表

コ 会場係

- ・会場係主任 1 名 + 競技役員 1 2 名
 < 試合場 >
- ・補助員 6 名
- ・副主任用の椅子の出し入れ。
- ・紅白テープ、足ふきマット、ティッシュ、雑巾などの準備。
- ・畳に血液が付着した際は備え付けのゴム手袋を着用し、消毒スプレーとティッシュで拭き取る。
- ・大会終了後に会場及び練習会場の復元撤去。

サ 大計時係

- ・主任 1 名 + 競技役員 2 名 + 補助員 4 名
- ・トーナメントボードの表示を行う
- ・ビックウエーブに 1 箇所、ビックホエールに 1 箇所
- ・試合記録用紙により、勝ち上がったチームに赤ビニールテープで表示得点を記入する。
- ・準備物
 はさみ、プログラム、クリアファイル、雑巾、赤ビニールテープ、インカム、筆記用具
- ・ビックホエールにモニター 3 台

シ 速報係

- ・主任 1 名 + 競技役員 2 名 + 補助員 1 1 名（記録本部係と兼務）
- ・試合結果を印刷 5 0 部
- ・試合記録用紙とトーナメント表をコピーし、速報ボックス、ひな壇用ファイルで管理。
- ・速報ボックスには試合会場ごと、第一試合から順に 5 0 枚コピーして入れる
- ・ひな壇用速報ファイルはひな壇左右の上段の机上に 1 冊ずつ置く。最初のページにトーナメント表を綴じ込む。
- ・試合記録用紙の保管
- ・速報ボックスの設置管理
- ・各試合会場の試合結果用紙（手書き）を各試合会場の記録係が P C の入力後、各試合会場へ取りに行く
- ・準備物
 保管トレイ、筆記用具、印刷用紙、クリアブック、インカム、机 2 脚、

ス 記録本部係

- ・主任 1 名 + 競技役員 6 名 + 補助員 1 1 名
- ・各試合会場の試合結果を記録用紙に手書きし補助員に回収を指示
- ・試合記録用紙プリントアウトの配布指示
- ・公式記録の作成管理

- ・勝ち上がりトーナメント表への入力
- ・トーナメント表の勝ち上がりを定期的に速報係へ渡す
- ・式典係へ連絡
- ・準備物
パソコン、プリンタ、インカム、筆記用具、トレー、トーナメント表、ホワイトボード、用紙

セ 総合成績計算委員長+計算係

- ・主任1名+委員長1名+計算委員2名+競技役員4名
- ・各試合結果をもとに総合成績一欄表、種別順位表、総合順位表を作成
- ・各種別1位～5位が確定したら記録本部係と確認する
- ・準備物
インカム、パソコン、プリンタ、印刷用紙、筆記用具

(3) 式典関係

- ・オープニングセレモニーで、国旗を背にして式典を進行した理由
役員席を向いたわけではなく、観客席の方向を向いたもの。
日の丸側の観客席は、急にセッティングした。
- ・5位までの表彰は、役員が8名、補助生徒が8名。

(4) 施設関係

ア ケアシステム

- ・全柔連と協議した結果、福井国体時も1方向からが良いとのこと。(松井)
3人の審判員の補助的なものとして導入
福井の業者「たまや」に、協力してもらえないのか。(片方を無償提供)
- ・ジュリーが、ケアシステムを操作するのではなく、担当者を配置して欲しい。
(黒田)

イ 会場設営

- ・業者委託先(セレスポ):会場設営及びモニターへの映像配信を担当

ウ 練習会場

- ・土曜日の成年男子は、ビックウエーブのアップ会場は使えないはずなのに、使用していた。(末端の係員には、指示されていない模様)
- (二階のアップ会場 土曜日の使用状況は15チーム:女子10、少男4、成男1)
- ・補助員4名
- ・使用後のテーピングやティッシュなどは持って帰るように指示する。
- ・体重計を設置する。
- ・練習会場利用者ノートの管理

エ アップ会場(2会場)

- ・補助員 3名×2面=6名
- ・モニターを3台×2面
- ・インカムの試合結果を報告を聞き、次試合場と対戦チームをアナウンスする。また、白板ボードに結果を記録する
- ・会場の保守点検並びに整理美化に務める
- ・アップ会場には当該の選手しか利用できない。

準備品

- ・備品箱に備品は入れてある
- ・箱の表に備品一覧を表示
- ・紅白テープ、消毒スプレー、はさみ、雑巾、インカム、塵取り、ゴム手袋、筆記用具、柔道衣測定器、利用者ノート、体重計、ハンドマイクマイク
- ・モニター3台

(5) 人員関係

ア 公式役員以外の宿泊予約

配宿センターに依頼するが、柔道競技関係の割当数は115人

(公式役員を優先したが、全国学生大会と同時期のため、ホテル割当に空きができたため、そこに非公式役員も配宿できた。)

イ 係員の手当 (柔道関係者)

和歌山市から支給 (@2,200円×3日)

ウ 補助員の手当 (高校生)

学生のため、記念品としてカバンを支給した。(@1,000円×3日分位のもの)

エ 受付業務 … 競技会場 1F 玄関ホール 「立て看板」2ヶ所設置

「競技関係」… 玄関ホール 手前、練習会場 入り口側

担当役員 (県柔連) 8名 (含: 準備期間中、名簿作成等関係者)

6名 (会期当日の実働者)

補助員 (高校生) 8名

「行政関係 (・都道府県体育協会、・視察員、報道員)」

… 玄関ホール 奥、競技会場 入り口側

担当役員 (市役所) 6名 (含: 準備期間中、名簿作成等関係者)

4名 (会期当日の実働者)

補助員 (ボランティア) 2名

オ 人員関係その他

- ・来賓者や視察員が、どちらの「受付」へ行けばよいのか迷っていた。誘導員 (県柔連・市役所 各1名) が前面に立ち、アシストする必要がある。
- ・競技会場口が、全ての人 (含: 役員、視察員、一般観客者) の出入りで混雑した。役員・視察員と一般観客者は、出入り口を別にすべきである。

- ・受付にて、IDカードに記名をさせていたため混雑した。
予め承知している人名は印字しておき、変更者のみ記名させたほうが効率的。
- ・役員（大会・競技）のIDカードに1日目のみの“食事券”を入れて渡したが、2日目以降は“食事券”を渡さなかったため、役員控室で混乱した。
予め承知している日数分の“食事券”を、IDカードに入れて渡すべきである。
- ・入場者数を把握されていなかった。
役員等は名簿用紙（その日の分）で、一般観客は“人数カウンター”で確認し、関係部署へ連絡すべきである。
- ・非常事態の発生について
非常時組織・緊急連絡体制の整備や、対応マニュアルを作成し備える。
- ・イベント（試合開始前、表彰式前：「講道館柔道“形”」以外も……）について
小学、中学、高校生、ママさんによる稽古状況発表。
ブラスバンド、地域伝統芸能の上演 etc。
- ・会場全般について
- ・トイレ設置（“福井国体”時は、女子選手が多い）について
通常選手40人（一般観客50人）につき1基（洋式洗浄機能付）不足分は、会場外に簡易トイレ。
- ・AED配置箇所について
混雑時に、誰でも活用できるように配置箇所を明示（非常口・トイレ同様）する。
- ・車イス観客への対応について
競技会場1F（2Fは、物理的に不可能）に、車イス用のスペース、同トイレ。
- ・“応援旗”掲揚可否の判断は、全柔連か開催地か
- ・“試合用柔道衣”の汚濁対策として、コインランドリーを設置。
- ・“雨天”時対策として、傘袋を用意。

(6) その他

ア 和歌山市との打ち合わせ等

上層部は頻繁に実施した。

任務確認のため、全体の打ち合わせ及び説明会は2回実施した。

イ 輸送状況

- ・一般人は、せせらぎ公園からシャトルバスを運行（1時間に3回～2回）
- ・役員、審判員等は、タクシーチケットを配布（3人1組で使用）

※ 和歌山市が対応

ウ 全柔連との打ち合わせ

主として、電話やメールを利用（7月～9月は4回位）

直接全柔連まで出向いたのは2回（2人で1回、1人で1回）

エ お成り

- ・行政（県）が担当

- ・県柔連からは会長のみが、お出迎えを担当したのみ。
- ・前日(日曜日)の競技終了後に、ロイヤルボックスを設置したのも行政である。
- ・ロイヤルボックスはその日の大会日程終了後、夕方から設置された。
- ・秋篠宮ご夫妻のお成りがあった。いつ来るかはっきりしたことは当日まで不明。
大体は決勝戦の観戦か。
- ・山下氏や鈴木スポ官来る
- ・通路沿いを厳重な警備員が固めた。
- ・間近で写真を撮らないようにとの注意を受けた。

オ 広告

県柔連独自に依頼して掲載(その分の印刷代は県柔連)
国体パートナーであるミズノについても、県柔連独自に広告をもらったため
パンフレットに掲載した。

カ パンフ販売

販売していたパンフレットは、広告付きのもの。
初日(土曜日)に150部販売した。

ク 審判員の懇親会

日曜日に連盟主催で実施(審判員の会費は3000円)
会費の補助を、連盟が負担

ケ ドーピング

柔道連盟はノータッチ
JADAの依頼を受けて市が対応
場所の選定(他の者と動線が離れていること。トイレが近くにあること。)
和歌山国体柔道競技でも何人か受けている模様

コ 次回開催県等

- ・岩手県柔道連盟理事長「小黒澤 正智」氏と名刺交換
福井県視察員5名の人数割当を事前依頼
それ以外で、久慈市に近いホテル所在地は、青森県八戸市とのこと。
- ・愛媛県柔道協会理事長「山口 奈美」氏と名刺交換
現時点では、何とも言えない。
国体開催地は松山市
国体が、道後の祭り(10/7~9)とブッキングしているため宿泊確保が難しい。
個人的に依頼するなら「ホテル勝山」「ホテル大平」

サ 全柔連からの依頼

り紙で表示。

また試合中に係の者が、巡視し座席の確認をしていた。

- ・ 2階観客席のギャラリーは、立ち入れ禁止部分が多かった。2階から物を落とすのを防ぐため。また係の者がいて奥に入らせないようにしていた。
- ・ 2階観客席には福祉席と学校団体関係者席が設けられていた。

セ ミシン室

- ・ 所属ゼッケン剥がしに2名、国体ゼッケンの取り付けに1名が担当。九桜社員のサービス。作業時間は1枚5分程度。今年は50枚程度だったが、過去には120枚くらいの付け替えをしたこともあったそうだ。一挙に重なると時間的に厳しい。

ソ 選手控え室・更衣室

- ・ 設置されていたがほとんど利用されていなかった。選手たちはアップ会場を更衣や荷物置き場として利用していた。
- ・ 初日には選手控え室にモニター3台が設置されていたが、選手が使用していないので、2階アップ会場へ移動された。

タ 喫煙室

- ・ 喫煙者は練習会場と試合会場の外に設けられていた喫煙ルームで喫煙をしていた。

チ 試合畳

- ・ 移動式折り畳み式畳み3台を使用し試合会場を設営。1台1億円くらいかかる。会場に3台、1階アップ会場に1台ある。大人5人で簡単に1試合会場を作れるらしい。床から試合畳が50センチ程持ち上がっているので、試合会場から落ちたら危険。試合中に何人かもつれて落下することがあった。試合場の周囲にレスリング用マットを敷きクッションを設けた。

ツ 1階アップ会場

- ・ 12枚×12枚の畳を敷いてあった。
- ・ 入り口に受付、モニター3台、無料ドリンクコーナー、コンディショニングルーム、が設置
- ・ アップ会場から通路を通りすぐに試合場へ移動出来る。

テ IDカード

- ・ 会場入り口でのIDカードのチェックがいい加減。点検者はいた？
- ・ 係ごとに色分けされている

ト 環境美化

- ・市の環境整備課がゴミの分別収集を担当
- ・ゴミを入れる専用の段ボールのゴミ箱を各会場に設置

ナ 会場入り口

- ・会場入り口には各県のPRをした幟が出迎えていた。幟は和歌山県下の小中学校が描いたものであった。

ニ 土産物テント

- ・来年開催地である岩手県久慈市のテントがあり、PRをしていた。福井県もテントを設けPRが必要か。

ヌ 視察報告文書作成

- ・後催県の岩手県や愛媛県はビデオやアイパットも持参して視察をしていた。PCを持参して行けば待ち時間に報告文書を作成できたと思う。

ネ 審判

- ・審判は地元開催チームに対し甘く、対戦チームに対し辛い判定をすることがあった。プレッシャーを感じているのだろう。

ノ 地元開催チーム

- ・成年チームは男女共に大方を外出身者で固めたために上位入賞できた。地元が勝たないと会場は盛り上がらないが、それが本来の国体の在り方であろうかという疑問も残る。チーム強化の方針を決める必要がある。
- ・少年はフリー抽選のため強豪県とぶつかると思われ、敗れる恐れは充分にある。正直、地元選手だけでの入賞は困難だろう。

ハ 報道

- ・報道関係者は試合会場の横手で写真を撮影していたため手前は良いが、奥の会場は取り辛いと話していた。正面から撮影させてほしいかったようだ。

ヒ 選手弁当

- ・発砲スチロールに弁当を入れ保管運搬。箱の中には保冷剤を入れて暑さ対策。4時以降は食べないようにとの注意事項が記載してある。

フ モニター

- ・3台のカメラでそれぞれの試合会場を撮影しモニターで放送したが、第1と第3の試合会場は隅から撮影してあるので若干見辛い。

ヘ 団体決勝戦

- ・次選手席に和歌山チームのスタッフ陣が入り込んで応援をしていたが指導注意は

なく、居座ったままであった。

ホ 地元応援

- ・成年男子が決勝に進んだので、地元の小学生や高校生が応援に来た。参加チームの応援を担当を決めて行うともっと盛り上がると思う。

マ 救護について

・救護状況

各日程とも5人程度（試合場で鼻血などの軽い処置は含まない）
役員の体調不良、診断書の発行、切り傷の選手に対する病院紹介など

・人員

医師2名（会場2名）

看護師2名（会場1名・救護室1名）

・配置

1・2 試合場の間…医師・柔道整復師・役員 計3名

2・3 試合場の間…医師・看護師・役員 計3名

救護室…看護師・役員 計3名

ミ コンディショニングコーナーについて

・人員

（土）…3名

（日）…5名

（月）…4名

・利用状況

各日程とも20名程度

処置内容は大半はアイシングで、男子の試合が始まるとテーピングを巻くなどの処置も数名に施した。

※別紙「わかやま国体柔道競技配置図」あり。